

環境産業委員会会議録

- 1 期 日 令和8年6月19日
- 2 会 議 場 全員協議会室
- 3 開会時刻 午前9時00分〔休憩① 午前9時40分～午前9時45分〕
〔休憩② 午前9時47分～午前9時50分〕
- 4 閉会時刻 午前10時03分
- 5 出 席 者 委 員 長 高橋 篤仁 副委員長 鷺山 記世
委 員 嶺岡 慎悟 委 員 山本 行男
委 員 鈴木 久裕 委 員 小田 つとむ
委 員 杉山 康弘
当 局 担当部課長
陳 述 者 請願提出者代表
事 務 局 鈴木 楓
- 6 議 題

- (1) 請願第1号 経済状況悪化が進行する中で、市内中小事業者への支援を求める
請願
- (2) 議案第73号 掛川市道路線の認定について
- (3) 閉会中継続調査

- 7 会議の概要 別紙のとおり
- 8 署 名 環境産業委員会委員長 高橋篤仁

令和8年6月19日

以上のとおり報告します。

(あて先) 掛川市議会議長 藤原 正光

議 事

午前9時00分 開議

○委員長（高橋篤仁） ただいまから、環境産業委員会を開会いたします。

今定例会におきまして、当委員会に付託されました議案は、請願第1号、経済状況悪化が進行する中で、市内中小事業者への支援を求める請願をはじめとする2件です。よろしく御審査をお願いいたします。

それでは、諸般の報告として、私から数点申し上げます。

発言の際には挙手の上、委員長の許可を得てから、必ず自席のマイクのスイッチを入れて発言するようにお願いします。

また、質疑においては、説明を求める前に議案等のページ数を示し、疑問点を明確明瞭に発言することとし、一問一答方式をお願いいたします。答弁においても、簡潔に分かりやすくお願いします。

なお、議案等に関係のない質疑や意見は控えていただきますようお願いいたします。

また、5人以上の傍聴の申出がございましたので、委員長より許可いたしました。

以上、事務連絡とさせていただきます。

それでは審査に入ります。

初めに、請願第1号、経済状況悪化が進行する中で、市内中小事業者への支援を求める請願を議題といたします。

請願の趣旨等は、先日配付済みです。

本請願につきましては、5月25日に請願者から意見陳述の申出があり、過日、議会運営委員会で許可されました。

これより、陳述者による意見陳述を実施いたします。

陳述は5分以内です。残り1分になりましたら私のほうから残り時間1分ですと申し上げます。

5分たったところでアラームが鳴りますので、そこで陳述を終了してください。

それでは、陳述者は、陳述席まで移動をお願いいたします。

〔陳述者 移動〕

○委員長（高橋篤仁） よろしくをお願いします。

〔陳述者 意見陳述〕

○委員長（高橋篤仁） 陳述者、ありがとうございました。

ここで、委員から陳述者へ質疑はございますでしょうか。

鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） 鈴木と申します。

項目の 1 番目ですけれども、先ほど調査の方法として、民主商工会の事務所に調査用紙を置けばというような方法でという御発言だったかと思いますが、とすれば逆に、最初に例えば民主商工会傘下の皆さんの実情はこうだということを具体的に提出されてからでもよかったかなとは思いますが、そのあたりはいかがでしょうか。

○陳述者 今言ったのは、小笠掛川民主商工会は中小事業振興会議の一員になっているものですから、市として取り組むアンケートを作成して、どこに声をかけていいか分からないとかありましたら民主商工会には会員が大勢いるものですから、アンケートとか調査をする手助けというか、情報を収集しますので一緒に頑張りましょうということです。

○委員長（高橋篤仁） 杉山委員。

○委員（杉山康弘） 実は、個人的ですけれども、私も現状に対する認識は結構同じで、中小企業だけでなく大きい企業も、あるいは個人の生活者としても、例えばゴミ袋の件も多分皆さん実感があるように、いろいろな部分でこの影響が出ているんじゃないかという実感は私自身も持っているんですけれども、ここで改めてその実態調査を実施してくださいというとき、具体的にどんなことを調査していったらいいとお考えになっているのか、ちょっと教えていただければと思います。

○委員長（高橋篤仁） 陳述者。

○陳述者 昨日あった話では、塗装関係ですけれども、材料を調達するのに今まで 4,000 円で買ったのが 3 倍以上の 1 万 3,000 円になっちゃった。それで、実際の話を知ると、大企業とかは結構材料を抱えていて、特に困っていないという声も聞くんです。それで、中小事業者だけがなかなか注文できなかったり材料の高騰が続いていると、そういった大企業と中小事業者、零細事業者との乖離があるものですから、そういった中小・零細事業者の声を聞いてほしい。どこも一緒だとは思っていないものですから、そういうところを実際のアンケート調査で確認していただきたいと思っています。

○委員長（高橋篤仁） ほかに。

山本委員。

○委員（山本行男） 山本行男と申します。今日はありがとうございます。

私も掛川市内の企業、そして私の友人がいろいろ事業をやっておるものですが、いろいろ回らせてもらって声をいただいていますと、おそらく今おっしゃってくれたような内容も含めた、皆さん本当に悲痛にも似たような声です。

それで、例えばエアコン業者もそうだし、6月いっぱいまでは材料があるけれども、もう7月入っちゃうと本当になくなっちゃって、これはお客様にもそうだけれども自分らの生活にも影響を及ぼすという、いろんなことがあったりします。

今、陳述者からも説明があったようなペンキとか、その業界の人たちも本当に材料がなかったり、それで市の中でも塩化ビニル管がもう調達できないところとか、これは業者もそうですけれども、いろんなことが起こっていることが事実だと思うんです。

そういう声を、私ができるような県とか、国のほうにもそういう要望を上げているわけですが、この話は市で調査するということと同時に、やはりそれぞれの議員も含めて自分が所属しているところにいろいろ声を上げていると思うんです。

それで、何を私、言いたいかというと、やはり市で独自にできるような内容じゃないと思うんです。そこはもうやっぱり、国とか県でいろんなことを対処してほしいよというような内容になっていくと思うんです。

それで、市はじゃ何もやっていないのかということであれば、私は決してそうでもないと思います。そういう意味においては市もそうだし、それぞれの議員もそれぞれの立場で今回のこの状態というのは掌握して、しかるべきところに報告上げてという、緊急的に早くやってくれということをやっているのではないかなと思っていますけれども。

だから、民主商工会のアンケート取ってということも大事な声だと思っています。そういう声もとらまえやっていくのも大事だし、今申し上げたような、状態的にはそれぞれがそれぞれのできる範囲の中で声を上げているということもまた知っていただきたいなど。何もやっていないよということでもないと思いますので、そういうこともまた御理解いただきたいと思います。

○委員長（高橋篤仁） 質疑はいいですか。

○委員（山本行男） だから、例えばアンケート取りましたよということでしたけれども、具体的にどういう声が上がってきたんですか。

○陳述者 アンケートは取っていないですけれども、会員との会話で声を聞くと、今、材料の注文すらできなくて仕事が止まっていて現場に入れないとか、それとかもう本当にさっきの価格ですけれども、去年までは4,000円で買えたのが今は1万3,000円とか、とても購入すら立ち止まっちゃうし、業者、お客さんへ見積りすら出せないような状態が続いているものですから、そういった声が今特に中小・零細事業者は本当に、よく目詰まりと言いますけれども、それ以上のことが起こっているものですから、実際市内で商売を営んでいる方の声を聞いてもらいたいというのが私たちの訴えであります。

○委員長（高橋篤仁） ほかに。

嶺岡委員。

○委員（嶺岡慎悟） 今のつながりの話の中で、先ほど山本委員がおっしゃったように、私たち議員もそれぞれの立場の中でいろいろヒアリングというか、私も建築業界にいる者なので、余計にもろに関わってくるものだと思います。

山本委員がおっしゃられたように、今も本当に今月分は何とかという状態。先月、5月なんかは来月6月になったらもう何もどうしようもなくなっているかもしれないということを5月に聞いていたら、6月になってみたら何とかなっていると、今は今で来月が心配だというような状況とか、それぞれ議員も、私たちもヒアリングとか、行政も含めて、私は商工会も商工会議所も登録、会員となってやっていますけれども、そういうところでヒアリングとかもいろいろしているところはあります。

ただ、個人的にちょっとお聞きしたかったのが、3番目、調査のことで、今いろんな調査をして3倍になっているという価格とかありますけれども、じゃ中小企業に対する支援というのはどういうことができるのかなかなかイメージができないんですけれども、そのあたりというのは何か、もし考えていることとかあったらお聞きできればと思います。

○委員長（高橋篤仁） 陳述者。

○陳述者 大規模なものでなくてもいいものですから、市が中小事業者に寄り添ってもらいたいと思っています。例えば、ガソリン代とか電気代とかの支援でもいいもので、その支払った金額の例えば2分の1、上限10万円とか、そういった小さな支援でもいいものですから市として取り組んでもらえれば、市内で営業している中小事業者も助かると思いますので、その辺を検討してもらえたらと思っています。

○委員長（高橋篤仁） ほかにございますか。

小田委員。

○委員（小田つとむ） 小田つとむといいます。

まず、これ重複するかもしれませんが、市内の事業者の経営悪化の具体的なデータとか調査結果というのはない、アンケート取っていないとのことだけど、廃業になっちゃうとか材料高いよという声はいろいろ聞いているけれども、具体的なデータというか調査結果というのは特にないということでよろしいでしょうか。

○陳述者 そうですね、実際声を聞いてという感じですね。話を聞いている。

○委員（小田つとむ） 分かりました。

それと、これも重複するかもしれませんが、直接支援というのはどの程度の事業者を対象に、どのくらいの規模の支援を想定したものでしょうか。もしかしたらさっきの答えと同じになるかもしれませんが、もう一度お聞きします。

○委員長（高橋篤仁） 陳述者。

○陳述者 コロナ禍のときに持続化給付金があって、国とは別に市でもそういった支援があったと思います。それと同じように、重複してもいいものですから、国と市両方ができるような支援、もう規模は問わないものですから、そういった売上げが減少している業者に対して支援、援助を実施してほしいと思っています。

○委員長（高橋篤仁） 小田委員。

○委員（小田つとむ） 3つ目です。掛川市が現在実施している補助制度というか、利子補給制度について、そういう利用状況とか課題とか、そういうのは今回調査された上での請願でしょうか。

○陳述者 実際の調査というのは聞いていないので、本当に会員の声を聞いてこういった請願に表しているものですから。

○委員（小田つとむ） 国とかのいろいろな制度があるわけで、市のほうも多少制度はあるわけですが、この制度はこういうのが問題、課題だよ、今制度があってもあまり行き届いていないよとか、そういう課題とか、そういうのは特にお持ちではないということですね。

○陳述者 そこに関しては。

○委員（小田つとむ） 分かりました。ありがとうございます。

○委員長（高橋篤仁） 鷺山副委員長。

○副委員長（鷺山記世） 鷺山と申します。

私も、個人事業主の方から資材高騰の状況が大変激しくてもう泣いちゃうという声も聞いていて、本当に大変だなとは重々承知しているんですけども、まず要請項目の1番なんですけれども、国は7月から9月に中小企業実態基本調査を実施する予定なんです。こういう予定がある中でも、市単独で調査を行ってほしいということでしょうか。

○委員長（高橋篤仁） 陳述者。

○陳述者 そうですね、市として、中小事業者、市内で商売を頑張る、そういう人たちの声を拾ってほしいと、そういった思いもあるものですから、やっぱりどうしても国というと、人口の多いところと人口の少ないところでもアンケートの結果が違ってくると思いますので、掛川市に対象を絞ったアンケートというか実態調査、声を聞く動きがほしいと思っています。

○委員長（高橋篤仁） 鷺山副委員長。

○副委員長（鷺山記世） ちょっと重複してしまうかもしれませんが、市も従来、企業訪問だったり団体との情報交換もしていて、状況は承知していると思うんです。それでも調査が必要ということでよろしいでしょうか。

○委員長（高橋篤仁） 陳述者。

○陳述者 そうですね、今回、ホルムズ海峡の影響を受けて、我々も中小企業振興会議の一員になっていますけれども、実際事務所に来て声を聞くだとか、そういった動きがないものですから、本当に幅広くどの事業所にも声を聞くような働きかけをお願いしたいと思っています。

○委員長（高橋篤仁） よろしいですか。

ほかにございますか。

鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） 先ほどの委員からお話あったように、年に1回の中小企業実態基本調査は、毎年のように行われるんですけれども、今回、もしやるとしたら項目としては特にどんなことを想定していたか教えてください。

○委員長（高橋篤仁） 陳述者。

○陳述者 とにかく売上げがどれぐらい下がっているのかとか、あとは従業員が何人いるだとか、あと借入れがあるかとか、市に要望すること、意見とか、そういった本当に今のホルムズ海峡や物価高騰の影響によって市内の業者が受けている影響の聞き取りをしてもらえたらと思っています。

○委員長（高橋篤仁） よろしいでしょうか。

山本委員。

○委員（山本行男） いろいろお聞きしていると、具体的にじゃこれだと、これをやってほしいというのも確かにあるかもしれないけれども、もっと幅広くいろんな声を聞いてくださいよということが一つこの請願の中にあるのかなという。

○委員長（高橋篤仁） 陳述者。

○陳述者 そうですね、幅広くというか、中には本当にコロナ禍よりもひどいといって、もうちょっと廃業を考えているような業者もいたり、なかなか本業がないものですからアルバイトに行くしかないなんて、そういった声も聞くものですから、そういった要するに声を聞いて、市でも支援を検討してほしいと思っています。

○委員長（高橋篤仁） ほかに質疑ございますか。

鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） 先ほど民主商工会も掛川市の中小企業振興会議の中の一員だよというふうに

はお話ありましたけれども、ちょっと私、確認で恐縮なんですけれども、アメリカのイラン攻撃があつてからこの間、会議を開こうよとか、そういった働きかけとか、中小企業振興会議の構成員としてそういう呼びかけをされたとか、そういうことはあるんでしょうか。

○委員長（高橋篤仁） 陳述者。

○陳述者 それは、民主商工会の会議の中でということですか。

○委員（鈴木久裕） 会議のとき。中小企業振興会議に対して。

○陳述者 それは正直ないです。

○委員長（高橋篤仁） ほかに質疑ございますか。

鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） あと、3番目の項目で、ちょっと先ほども出たかもしれませんが、具体的に何か想定されているような支援策がありましたら明示をしていただけるとありがたいですけれども。

○委員長（高橋篤仁） 陳述者。

○陳述者 実際に影響を受けている方に支援、助けをしてほしいものですから、売上げが昨年と比べて何%減少しているのか、あとは実際に物価高騰で苦しんでいるものですから、さっき言ったように簡単というか簡易な電気料金とかガソリン代のレシート、通帳なんかのコピーをして、その金額に対して2分の1とか、上限10万円までとか、そういう支援をしてもらいたいと思いますし、ほかの県でもそういったのをやっているところがあるものですから、そういった支援をしていただければだけでも非常に助かると思っています。

○委員長（高橋篤仁） ほかにございますか。

よろしいでしょうか。ほかに質疑ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○委員長（高橋篤仁） それでは、意見陳述及び質疑を終結いたします。

陳述者には、大変お忙しいところ、本委員会に出席していただきまして、誠にありがとうございます。

傍聴席のほうへお戻りください。

〔陳述者 移動〕

○委員長（高橋篤仁） 質疑が終了いたしましたので、ここで委員間討議を行います。

意見のある方はお願いいたします。

鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） 非常にお気持ちは分かる、実情はそうなんだろうなということで思います。

ただ、ちょっと 1 番、 3 番につきまして、もう少し具体的な想定されるものがあると分かりやすかったかなという感じはいたしました。

○委員長（高橋篤仁） 1 番、 3 番、具体的にというところ、御意見ありました。

ほかに。

杉山委員。

○委員（杉山康弘） 私も冒頭に質問させていただくときに、やっぱり我々も直接本当に市内のお付き合いある皆さんから結構悲鳴にも似た声を聞いていて、当然この 1 番と 3 番にやっぱり絡むんですけれども、市で何ができるのかなということを考えながらそういう声を聞いていくので、市独自の調査をするということと、実際我々はじゃその声に対して何がしてあげられるかと、調査をかけるとのことと、実際その声を聞いた後何ができるかというのを我々ちょっとセットで考えていかなきゃいけないなということを実は強く新ためて感じた次第です。

○委員長（高橋篤仁） 山本委員。

○委員（山本行男） 私も、先ほど申し上げたように、杉山委員もおっしゃったように、議員それぞれがやっぱり現場の声を聞いて、それを上げていることは事実だと思うんです。県に上げたり国に上げたり、そういうことはやっているよということをまず理解していただきたいなと思います。またそういうことも承知して今日も来ていただいておりますんじゃないかなと思います。

やっぱり、市単独で何かというのは、なかなかこれ、私もほかの市町のことをインターネットで調べたり、いろいろ見たりしたんですけれども、これはというのはやっぱりないんだよね。やっぱり国とか県の融資制度の金利の補填をするよとか、そういうのはどこもやっていることだなと思うけれども、じゃそれを抜けた何か、さっきほかの県ではそういうことが、ガソリンとか行政のほうにレシート持って行けば補助があるよとか、そういうのは私は初めて今お聞きしましたが、この県内で私の知っている限りでは、そこまでやっているところはないのかなという感じ。

であるとすれば、やはり今、コロナ禍のときもそうだし、平成21年から始まっている金利が、融資を受けたときの金利の補填とか、そういうことでセーフティーネット的にはやっているとは思っているんです。

だから、先ほど鈴木委員もおっしゃった、今回この請願出すときにもうちょっと具体的に、こういう声をいただいてこうなんだみたいなのところとか、ほかではこういうことをやっているんだよみたいな、そういう具体的な例示もちょうと欲しかったなというところがありました。

○委員長（高橋篤仁） 鷲山副委員長。

○副委員長（鷲山記世） 他の委員の方もおっしゃっていますけれども、私は今回の請願、まず要

請項目 1番で感じたことは、県が広域で実施している調査がもう既に動いていたりするので、改めて市単独で調査をするというのは、市のほうも調査はしているということです、こういったことが国や県の調査とはまた違うアンケート結果が出るのか、そういった政策的な効果がどこまで見えるのかということに疑問を抱いております。

あと、2番目についてなんですけれども、国のほうでガソリン価格抑制の補助金だったり電気・ガス料金への支援だったり、サプライチェーンへの実態把握の評価をするために動いております。

あくまでも国や県に直接の支援を請願していくことは分かるのですが、市独自となるとこれはなかなか難しいのではないかなと思いました。

それで、3番に関してなんですけれども、市で現在実施している支援が6つほどあるのですよね。ですので、何と言ったらいのかな、市で新たに支援策を行うよりかは、もう少し市が既に取り組んでいる支援策を中小企業に改めて周知する必要があるのではないかなと思いました。

そうですね、一番私が感じているのは、今、市のほうもいろんな事務事業の予算が削減されているというのが現状ですので、そういったこともちょっと理解していただきたいと思いました。

以上です。

○委員長（高橋篤仁） 小田委員。

○委員（小田つとむ） 今回の資材の高騰とか、いろいろ原油高騰によって廃業まで追い込まれている方がもしかしたらいるかもしれませんけれども、これは別に、言い方は悪いんですけれども、掛川市内の事業者に限ったことじゃないものですから、これ全国的な課題です。ですので、掛川市だけでその事業者を、これはちょっと私はいかがかなというところはあります。

国もガソリン価格の高騰の抑制とか、いろんな補助とか、いろんな対策を打っています。掛川市もいろんな、今、委員が言ったような制度もありますので、それももっと積極的に使っていくようなことをやっていくということだと思います。

○委員長（高橋篤仁） 嶺岡委員。

○委員（嶺岡慎悟） 私からも述べさせていただきますが、先ほどもちょっと申し上げましたけれども、やっぱりこのことが出てから、私も4月、3月からもそうですけれども、仲間だったりとか、建築やっているので余計にそうですけれども、事あるごとにヒアリング、自分なりには調査しているつもりです。4月から、3月からも含めてずっと、中ではやっぱりある会社がユニットバスはもう注文受けない。ただ、それも実は裏では動きだしたり、結局今はもう動き出し始めていますけれども、ただ納期は分からないとかいう状況はありますけれども、ただやっぱり社会としては動いているという実態はあるのかなというふうには認識しています。

調査に関しては、商工会議所には私も所属しているのでヒアリングとかもしていますけれども、そういったところとかでも話を聞いていますし、その所属団体によって大きく声が違ふとかちょっと私は思えないなど、この今の状況としてはとは思っています。

ただ、その話を私も聞きながら、じゃ先ほどからもずっと話があったんですけども、やっぱり3番目の何ができるかとなったときに、ずっとずっと考えてもちょっと私はいいい答えが出なかったというのが正直あります。

ある程度固定的な業者、シンナーだったりとか、今断熱材も本当に大変ですし、ユニットバス、いろんなのがナフサの影響で入らなかった。ただ、やっぱり価格はとにかく高騰している、やっぱりその価格転嫁をどうしていくかというのが一番重要だと思っていますし、そもそも私、建築屋からしても、もう将来が本当に心配。今の金利がこれだけ上がってきている中で新築物件とか若い方が家を建てるかどうかと、本当にそこに行きつくくらいなところになっていて、今、新築の価格は私が家を建てた8年前より1.5倍、2倍近い金額になってきてしまっているのです、そういったこととか考えると、そのあたりは本当に非常に心配しておりますが、ただそれを市独自で何とかできるというのは私はもう思いつかなくて、それだったら正直なところ一市民、水道代の減免だったりとかそういった、今回商品券配布事業もありますけれども、そういったやっぱり全ての市民が、何というんでしょうか、そういうことの支援をぜひもっと市としては支援していく必要があるのかなと、今の物価高騰を対策していく、やっぱり価格高騰とか価格転嫁というのを市民の皆さんに理解していただけるような、そういったことの対策づくりというのが必要なのかなというふうに思っていますので、なかなか本当にお気持ちは分かるんですけども、なかなかこの市が独自ですというのは、そこにピンポイントでというのはなかなか難しいんじゃないかなというのは正直いろいろ検討する中で思っているところです。

○委員長（高橋篤仁） 出尽くしましたでしょうか、皆様。

〔「はい」との声あり〕

○委員長（高橋篤仁） 以上で討議を終結いたします。

それでは採決に入ります。

鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） 採決の前に、趣旨採択の選択肢を提案します。

○委員長（高橋篤仁） ただいま鈴木委員から、この請願においての趣旨採択はいかがかという質問がございましたが、原則としては請願については採択、不採択しかないというのが原則ですけども、委員の皆さんにお諮りいたしましょうか。少々お待ちください。

それでは、一旦休憩いたします。

再開は 9時45分といたします。

午前9時40分 休憩

午前9時45分 開議

○委員長（高橋篤仁） それでは、休憩前に引き続きまして会議を再開いたします。

ただいま鈴木委員から趣旨採択を希望する意見がございました。

請願第 1号について趣旨採択を行うことに賛成の方の挙手をお願いいたします。

〔賛成者挙手〕

○委員長（高橋篤仁） 結構です。

請願第 1号については、賛成少数にて趣旨採択を行わないことに決定いたしました。

通常の採決に戻ります。

請願第 1号、経済状況悪化が進行する中で、市内中小事業者への支援を求める請願について、採択することに賛成の方の挙手をお願いいたします。

〔賛成者挙手〕

○委員長（高橋篤仁） 結構です。

請願第 1号については、賛成少数にて不採択すべきものと決定いたします。

以上で、請願第 1号の審査を終了いたします。

ここで休憩を取ります。

再開は 9時50分といたします。

午前9時47分 休憩

午前9時50分 開議

○委員長（高橋篤仁） それでは、休憩前に引き続き会議を再開します。

議案第73号、掛川市道路線の認定について議題とします。

それでは、維持管理課の説明をお願いします。

宮崎維持管理課長。

〔維持管理課 説明〕

○委員長（高橋篤仁） 宮崎維持管理課長、ありがとうございます。

ここで、質疑ございますでしょうか。

鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） サンズテラス長谷ウエスト循環線とサンズテラス長谷ウエスト 1号線につい

てですけれども、手続上の確認ですけれども、まだ寄附採納は受けていないですよ。

○委員長（高橋篤仁） 宮崎維持管理課長。

○維持管理課長（宮崎行博） これについては、都市計画法の開発行為に当たり、事前に協議をしておりますので、寄附の行為は受けております。

○委員長（高橋篤仁） 鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） そういう決まりになっているんですか。

○委員長（高橋篤仁） 宮崎維持管理課長。

○維持管理課長（宮崎行博） 以前も鈴木委員から御指摘がありまして、御指摘後は、開発行為で事前に協議をしたものについては寄附を受け付けています。一般の開発行為の事前協議をしていないものについては、市道の認定を受けてから寄附を受け付けるような形に変更しております。

○委員長（高橋篤仁） 鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） 小さいことかもしれないけれども、あくまで市道認定するのは今回の議会だもので、開発行為の許認可のときに市道の認定をするわけじゃないもので、そこはちょっと手続的にどうなのかというのは、近隣市じゃなくてもっと大都市でどういう扱いしているかと、もう 1 回確認してください。

○委員長（高橋篤仁） 宮崎維持管理課長。

○維持管理課長（宮崎行博） 浜松市に確認しており、浜松市も同じように開発行為で事前協議をしたものについては、事前に寄附行為を受けていて、開発行為の事前協議をしてないものについては市道認定を受けてから寄附行為を受け付けているということを確認しております。

○委員長（高橋篤仁） ほかに質疑ございますか。

続けてよろしいですか。

鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） 次の、逆川本通り伊達方支線ですけれども、逆川本通り線そのものの路線変更はどういう手順になっているんですか。

○委員長（高橋篤仁） 宮崎維持管理課長。

○維持管理課長（宮崎行博） 逆川本通り線については、起終点の変更がありませんので、そのままという形になります。市道認定、起終点が変更する場合については議会に諮らせていただきますが、起終点の変更がないため、特に市道認定の関係で議会に諮ることは予定しておりません。

○委員長（高橋篤仁） 鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） 確認だけでも、それは法的にそういう決まりなんですか。

○委員長（高橋篤仁） 宮崎維持管理課長。

○維持管理課長（宮崎行博） 大丈夫です。

○委員長（高橋篤仁） ほかに質疑。

嶺岡委員。

○委員（嶺岡慎悟） 95ページの大東市民プールのところ、菊浜線の終点、すごい細かい話なんですけれども、これ東西の市道は残して、どこまで。これ絵的には本当はもうちょっと下になるところですか。終点というのはどこで切るというのを一応、絵的な話くらいなのかもしれないですけれども、終点は。東西の道路のところ、分かりますか。

○委員長（高橋篤仁） 宮崎維持管理課長。

○維持管理課長（宮崎行博） 東西の道路にぶつかるところが変更後の終点となっております。

○委員長（高橋篤仁） 終点決まっているということですね。

嶺岡委員。

○委員（嶺岡慎悟） 今、道路台帳を見ると南北のほうが優先になっているので、そこで止めちゃうとそこの交差点のところというのは抜けちゃう気がするんですけれども。

○委員長（高橋篤仁） 交差点の中ということですよ。

宮崎維持管理課長。

○維持管理課長（宮崎行博） 図示の表示がよくないため、南側までということで訂正させていただきます。

○委員長（高橋篤仁） ほかによろしいですか。

〔「なし」との声あり〕

○委員長（高橋篤仁） それでは、以上で質疑を終結いたします。

維持管理課の皆さん、ありがとうございました。

質疑が終了しましたので、ここで委員間討議を行います。

意見のある方はお願いします。

鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） 最初の 2つの路線については、開発行為というか一応ちゃんとした事前に審査して築造されている道路だものだから、その受け取るということは別にいいんですが、手続についてはちょっと私は疑問が残るけれども、受け取るということ自体はいいと思います。受け取るじゃないですね、認定すること。

○委員長（高橋篤仁） ほかに。

〔「ありません」との声あり〕

○委員長（高橋篤仁） 以上で討議を終結いたします。

討論はありませんか。

〔「ありません」との声あり〕

○委員長（高橋篤仁） 以上で討論を終結いたします。

それでは、採決に入ります。

議案第73号、掛川市道路線の認定について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

○委員長（高橋篤仁） 結構です。

議案第73号については、全会一致にて原案のとおり可決すべきものと決定いたします。

次に、閉会中の継続審査申出事項についてを議題といたします。

サイドボックスに資料を掲載してありますので、御覧ください。

資料のとおり、13項目の内容でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○委員長（高橋篤仁） それでは、環境産業委員会の閉会中継続審査申出事項については、資料のとおり13項目といたします。

以上で、当委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

当委員会で審査した議案は、討論通告締切りは 6月22日月曜日、午後 1時です。

それでは、環境産業委員会を終了いたします。

御苦労さまでした。

午前 10 時 03 分 閉会